

2021年度セメント需要見通し

2021年2月
一般社団法人セメント協会

➤ 国内需要

2021年度の国内需要は、39,000千tと見通した。

【官需】2021年度公共事業予算案は、2020年度第三次補正予算と合わせると前年同水準である。また、新型コロナウイルス感染症による影響、人材不足等による業務・工事の長期化等が継続すると予想し、2021年度の官需は、2020年度の水準と同程度の水準になると見通した。

【民需】住宅投資は、雇用・所得環境の悪化や先行きの不透明感から、2020年度より低迷しており、この傾向は2021年度も続くと予想する。一方、設備投資については、企業業績の持ち直しを背景に、倉庫や流通施設を中心に徐々に増加すると予想されることに加え、都市部の再開発工事やリニア中央新幹線関連需要等が2021年度も継続することから、2021年度の民需は、2020年度を上回る水準になると見通した。

こうしたことを背景に、2021年度のセメント国内需要は39,000千t（前年比 101.0%）と見通した。

（単位：千t、%）

項目	官需		民需			合計		
	前年比	構成比	前年比	構成比	前年比			
2020年度見込み	18,600	95.2	48.2	20,000	93.3	51.8	38,600	94.2
2021年度見通し	18,500	99.5	47.4	20,500	102.5	52.6	39,000	101.0

➤ 輸 出

2021年度の輸出は、11,000千tと見通した。

コロナ禍の影響があるものの、各国とも建設工事をエッセンシャル事業として位置付けており、アジア諸国及びオセアニアを中心に依然根強い引合いが期待されることから、ほぼ前年並みの11,000千t(前年比 98.2%)と見通した。

（単位：千t、%）

項目	輸出	
	前年比	
2020年度見込み	11,200	106.3
2021年度見通し	11,000	98.2

以 上